

27年度定期講演会

講師：(有)千里福祉情報センター 代表取締役 水野 慎吾 氏
手話通訳：サークル会員5名 助手 浜本美代子 氏
要約筆記：みおつくし 〓の方が協力してくれました。

蘭川 直子

途中から参加したため、最初の事が少し分かりませんが、聴覚障害の方たちをサポートする、さまざまな商品があることを知りました。昔と比べると種類も増え、自分に合った商品を選ぶようになってきていると思います。特に通知を音、振動、光で知らせるフラッシュ受信機は、デザイン性も優れているなど感じました。

また、最後に紹介していただいた、暗いところでも文字が光るアンブルボードは、健聴者にとっても便利だと思います。聴覚障害者向けだけでなく、すべての人にやさしい機器がこれからも増えてほしいと思います。



旧区聴言会員 桜井 強

手話サークルふじの恒例講演会に参加しました。

講師は、聴覚障害の第さんがいる水野さんで、手話が堪能で分かりやすい講師でした。高齢のろうあ者に御用訪問したり、困っている人を助けたり、世間話の相手をしたり、何でも屋みたいで弱い者を見捨てたりしない方だと感じました。お客様の高齢ろうあ者が、水野さんを慕う

理由が分かったような気がしました。信頼できるし、情け深いし、ユーモアがある方で面白かったです。

昔はろうあ者に対する差別がひどかった。様々な差別を受けて生きる為には、どんな筆でもやむを得ず、生きて行く手段として、悪の道歩んだ。未就学や識字を知らないろうあ者がいたり、健聴者とのコミュニケーションが上手くいかず、相互に誤解が生じ、トラブルが起きた等の興味深いお話を伺えました。

最後に水野さんが営んでいる会社で扱っている日常生活用具を説明しながら紹介してくれました。十数年前の機器と現在の機器を、比較してみるとかなり進歩しているのでとても驚きました。日常生活用具の申請手続き等も、分かりやすい説明をしてくれてすごく良かったです。水野さんは、ろうあ者の第さんを持っている当事者なので身近に感じられました。



手話奉仕員養成講座 修了生 小林 眞子

3月16日の講演会に参加させていただきました。

日常生活用具の説明と聞いていましたが、その前に講師の方が、ご自分の弟さんに障害があり、その歩んでこられた体験談から始まりました。差別・偏見・特別視(学校・就職・行政・家族)昔は断種などあったと話されました。また、TV・雑誌とかで知る物とは違って、行政の対応には驚きました。等級によって補助金の差がある事など、一般的には優遇されている様に思いますが、私には知らない事ばかりでした。



次に日常生活用具の紹介ですが、障害に応じて対応できるように創意工夫がされていました。光・振動・音どれが欠けても生活をする上で生死にかかわる物だと思いました。実際に初めて見る物ばかりでした。

以前、ダンスをしたいという聴覚に障害がある方がいらっしゃいました。今思えば凄いなんだと思いました。

今回参加させて貰って感じた事は、このサークルは手話だけでなく障害のある人へのコミュニケーション支援を含んでいる。また、障害の実態を把握した適切な行政支援施策の欠如があり、もっとも配慮が必要なんだと思いました。

参加者31人(サークル17人 区聴言8人 非会員6人)